

マンドリン購入の思い出

榊原 喜三

昭和30～40年代、戦後10年以上経って落ち着きを取り戻した全国各地に、古くからある大学のマンドリンクラブが演奏旅行し、刺激を受けた大学生たちがこぞって大学のサークルとしてマンドリンクラブを創設し、雨後の筍の如く全国に広がっていきました。私の大学時代(昭和37～41年)はこの昭和のマンドリン隆盛期にあたり、私もマンドリン漬けの生活を送っていました。

その頃良い手工マンドリンを購入しようと思うと名古屋には無くて、少ない情報を頼りに東京のマンドリン製作家の工房を探し出し、手紙で注文し、完成まで10カ月・・・出来上がるのを心待ちする長い長い10カ月でした。

やっと出来上がりの連絡を受けると、すぐに東海道本線の準急で受け取りに行きました。

帰るとき、荷物棚に乗せたマンドリンが気になって仕方ないです。四人掛けのボックス席で、他のお客さんが降りて一人になるともう我慢できなくなって、棚からマンドリンを降ろして、撫でまわしたり小さい音で弾いたり、夢見心地でした。

当時マンドリンは3万円で、2年後就職したときの初任給が2万1千円でした。



榊原 喜三

(さかきばら きぞう) マンドリン

1966年名古屋大学卒業。在学中、名古屋大学ギターマンドリンクラブのコンサートマスターをつとめる。1972年第3回日本マンドリン独奏コンクール第1位。

1974年ベルリン国際マンドリン音楽祭にソリストとして出演。1980年名古屋市芸術奨励賞受賞。1984年第45回青少年音楽祭でジュネスマンドリンオーケストラと協演、NHK教育TVで放送。名古屋マンドリン合奏団のソリストとして1984年・1988年にロシアへ、1992年に中国へ、1996年にオーストラリアへ演奏旅行。

リサイタル多数開催のほか、各地でコンサートに多数出演。NHK-FMに出演のほか、名古屋フィルハーモニー交響楽団とも協演。これまでに独奏のLP2枚、CD4枚をリリース。後進の指導も行っている。ザ・マンドリン合奏団を主宰し、2009年、2011年には宗次ホールにて演奏会を開催。マンドリンを故 中野二郎氏に師事。



勝林 知香

(かつばやし ちか) マンドリン

愛知淑徳高校、短期大学ギターマンドリンクラブ出身。2005年よりマンドリンを榊原喜三氏に師事。2010年第22回中部マンドリン独奏コンクールにて次位。

現在、マンドリンアンサンブル「淑徳メモリー」と「名古屋マンドリン合奏団」の両団でコンサートミストレスを務めている。



榊原 悦子

(さかきばら えつこ) ピアノ

愛知淑徳高校を経て、名古屋音楽短期大学(現名古屋音楽大学)ピアノ専攻卒業。同専攻科修了。1999年第14回国民文化祭ぎふ'99で、イタリアのマンドリニスト、ウーゴ・オルランディ氏のピアノ伴奏をつとめる。ピアノを井上信子女史、青山ます子女史に師事。マンドリンアンサンブルではマンドラ・マンドセロ及び指揮を担当している。

2014年5月26日(月)

宗次ホール×ローズ倶楽部 提携企画
日本で最も美しい村に響く
マンドリンの音色 東白川村編



2015年10月20日(火)

宗次ホール×名古屋ボストン美術館 提携企画
マンドリンで旅する ウェネツィア



宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分




宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)